

平成29年度 鳴門市学校評価書

鳴門市撫養小学校

I 経営の重点に関すること

学校教育目標

A; 大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D; 課題である

項目	内容	中間評価	年度末評価	コメント
重点目標(重点的に求める価値目標)	課題をもって、主体的に取り組む子どもの育成		B	
具体的な取組 (組織として価値観を揃えて取り組むこと)	LOVEの活動 挨拶や清掃・奉仕活動等に取り組み、豊かな心を育成する。		B	
	LEADの活動 集団行動や体験活動を推進し、自主性や社会性、適応力等を育成する。		B	
	LEARNの活動 個に応じた、わかる授業を実施し、確かな学力を育成する。		B	
評価指標 (具体的な求める子どもの姿・行動目標)	自分から挨拶する子		B	
	よく考え、粘り強く勉強する子		B	
	地域を知り、地域に関わる子		C	
	体を鍛え、よく働く子		B	

スローガン	いそがず、やすまず、自分から LOVE! READ! LEARN!
-------	-----------------------------------

学校の自己評価・改善方針	高学年においては、3L活動がその趣旨に則って活発に行うことができた。下の学年では道徳等において計画的に「LOVE」(豊かな心の育成)に関連した学習を行うことができた。自発的に3L活動ができるようになるための指導・支援の工夫が必要である。地域への関わりは、昨年度より好評価の割合が上昇した。本年度めざす子ども像の一つに「地域を知り、地域に関わる子」を掲げ取り組んだ成果であろう。しかし、休日や放課後にゆとりの少ない子どもも多いようである。地域行事参加の効用について保護者への啓発が必要である。
--------------	---

学校関係者評価	全体的により取り組みが実践され、効果を上げている。地域との関わりが活発になってきたことを大変嬉しく思う。学校訪問して感じることは、昔と比べ外遊びをしている子が少ないことだ。体力にも二極化が見られるらしいので、ぜひ体力づくりに取り組んでほしい。学校評議員会のように、市レベルで各学校評議員の協議会を開催すると、学校教育に関していろいろな意見をもらえるのではないかと。
---------	--

II 学校アセスメント

A; 大変よい(90~100%), Bまあまあよい(89~80%), C少し課題を感じる(79~70%), D; 課題である(69~0%)

大項目	中項目	学校の取り組み	中間評価	年度末評価	子ども調査	中間評価	年度末評価	保護者調査	年度末評価	A, Dについてはコメントを付す
1 学習指導の充実	学習意欲の向上	魅力的な授業展開の工夫		A	1 先生はいつも分かりやすく教えてくれる		A	1 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる	B	
	基礎基本の定着	学力テスト・ステップアップテスト 単元末テスト・中間テストなど		B	2 漢字や計算の力がついてきている		A	2 子どもの学力状況はよく分かっている	A	
				B	3 成績に満足している		D	3 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる	A	①自己の能力を正しく知ること、②正しい自己能力理解から自分に合った課題を見いだすこと、③身につけた力を様々な活用できる力を育成する
			思考・判断力の向上	学力テスト・ステップアップテスト		B				
		単元末テスト・中間テストなど		B						
	体力の向上	体力テストの結果など		B						
		体力づくりにつながる活動の実践		A	4 進んで運動し、体力づくりをしている		B	4 学校は、子どもの体力づくりに取り組み、効果を上げている	B	
	学習規律の定着	学習の仕方のルール作り 授業観察		B	5 授業中に人の話を集中して聞いている		A	5 学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる	A	
				B	6 宿題をきちんとしている		A	6 子どもは家庭学習(宿題)を、きちんとしている	A	
	課題解決的な学びの充実	「めあて」や「まとめ」を表示した授業実践		B						
	協働的な学びの充実	グループ学習の実践		B	7 グループで調べたり、課題を解決する学習が好きである		B			
	習熟に応じた指導の充実	習熟度学習の実践		B						
	ICT等を活用した指導の充実	ICT活用の授業の実践		B	8 電子教科書などを使った授業は好きである		A			
	14	特色ある指導	学習活動でタブレットの活用		B					

	大項目	中項目	学校の取り組み	中間 評価	年度末 評価	子ども調査	中間 評価	年度末 評価	保護者調査	年度末 評価	A, Dについてはコメントを付す	
15	生徒指導 の充実	肯定的な自尊感情の向上	全ての子どもを全ての教職員で指導する体制作り		A	9 自分にはよいところがある		B	7 子どもは、自分のいいところについて理解している	B		
16			ほめて育てるを基本とした生徒指導の実践		B	10 先生は、頑張ったときほめてくれる		A	8 子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている	A		
17		自己指導力の向上	問題が起きたとき、子どもが自ら考え、判断できる指導実践		B	11 物事がうまくいかないとき、粘り強く対応できる		B	9 子どもは何事にも粘り強く、問題に取り組む	D→	昨年度より好評価の割合が下降した。粘り強さが弱いと、自己憐憫や、他者非難に結びつきやすい。粘り強の育成を目指し、価値があり達成可能な目標を定める能力の育成を図らねばならない。	
18			家庭訪問等により、家庭と連携した指導体制作り		B	12 自分の判断で、行動するようにしている		B	10 子どもが粘り強く問題に取り組めるように、家庭でも応援している	B		
19		生活習慣・規律の定着	生活習慣の実態把握と向上への取り組み			C	13 身の回りのことは、自分で片付ける		B	11 子どもは、自分の身の回りのことを自分でしている		B
20						B	14 朝は決まった時間に起きている		B	12 子どもはルールを守る意識が育っている		A
21				あいさつの指導などを全学的に実施		B	15 先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている		B	13 子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている		C
22	特色ある指導	校内委員会の定期的実施		B								
23	特別活動 の充実	協同力の向上	学級活動のチェック		C	16 学級の係活動や掃除などに積極的に取り組んでいる		B	14 子どもは、人のことを大切に、友達と仲良くしている	A		
24		自治的能力、責任感の向上	集会活動の実践		A	17 学級、学校の一員として、考えて行動している		B				
25		表現力・社会性等の育成	朝会・集会の活用		A	24 3L活動を理解し、取り組んでいる		C				
25	進路指導 の充実	自ら主体的に判断して、キャリアを形成する力の向上	キャリア教育の計画の実施		B				15 子どもと、社会や将来のことを話し合っている	C		
26		社会に関心を持ち、社会に関わる力の向上	ボランティア活動などの実践		C	18 地域の行事などに参加している		C				
27	心の教育 の充実	子どもが相談しやすい環境の充実	子どもの相談体制の確立		B	19 先生は、悩み事があったとき、相談に乗ってくれる		A	16 子どもは学校のことをよく話してくれる	C		
28		不登校支援の充実	不登校児童・生徒に対する支援計画の作成		B	20 学校生活は楽しい		B	17 子どもは、楽しんで学校に行っている	A		
29		特色ある指導	全学年共通の重点指導価値項目の設定		B	27 仲良しの友だちがいる		A	23 子どもはゆとりある生活を送れている	C		
30	安全教育 の充実	交通安全意識・行動力の向上	交通事故などを未然に防ぐ取り組み		B	21 事故などに遭わないように、日々気をつけている		A	18 子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている	A		
31		防災意識・行動力の向上	防災訓練などの取り組み		A	22 防災訓練などに、真剣に取り組んでいる		A	19 子どもと防災のことについて、家で話し合っている	D→	昨年度より好評価の割合が大きく下降した。家庭への啓発が必要である。重要な課題である。	
32		特色ある指導	保・幼・小合同避難訓練の実施		A							
33	人権教育 の充実	人権感覚の向上	いじめ対応などの確認		B	23 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う		A	20 学校は、いじめや生徒指導上の問題について、素早く適切に対応してくれる	B		
34	特別支援 教育の充 実	個別の支援計画に基づく指導の充実	支援が必要な子どもの指導計画の作成		B							
35		通級学級との交流による社会対応力の向上	指導計画の全校での確認		C							
36		特色ある指導	通常学級で支援が必要な子どもの共通理解		B							
37	開かれた 学校づく り	情報の提供	学校・学年・学級通信等の発行やホームページの充実		B				21 学校から、情報が十分提供されている	C		
38		地域・家庭のニーズの把握	地域・家庭との情報交換		B	26 撫養のまちをすきだと思ふ		A	22 学校行事などに積極的に参加している	A		
39		保護者会の充実	懇談の機会の充実		B							
40		PTA等との連携	定期的なPTA役員会等の開催		A	25 お家の人は参観日や行事によく参加してくれる		A	24 PTA活動に積極的に参加している	B		

	大項目	中項目	学校の取り組み	中間 評価	年度末 評価	子ども調査	中間 評価	年度末 評価	保護者調査	年度末 評価	A, Dについてはコメントを付す
41	学校経営 の改善	校務分掌の組織化	校務の見直しや組織の改廃		B						
42		教員の参画意識を高める	学校経営・運営ビジョンの共通理解		B						
43		学校事務の効率化、効果的な 会議	情報の分類・整理の推進		B						
44	教員研修 の充実	共通テーマにそった研修	校内研修の充実		A						
45		研修会等への参加と報告	受講研修内容の伝達の推進		C						
46		特色ある指導	四国・県大会研究発表者の研究推進への協力 や支援		A						

学校の自己評価 改善方策	「Ⅱ学校アセスメント」の学校の取り組みは、評価項目において、個人差や学年差があり、学校全体として評価することが難しい項目があった。全体としては、よい成果が得られた。子ども調査と保護者調査の評価は、児童や保護者へのアンケート調査結果で「よくあてはまる」「ややあてはまる」という好評価回答の割合をもとに判断した。多くの項目において良い結果となったが、C、D評価もある。取り組みを具体的に振り返り、改善に取り組む。
-----------------	--

学校関係者評価	係活動や掃除への取り組みに問題があることが気になる。地域との関わりについては、大人から子どもへの働きかけも不十分な状況があるのではないかと。大人からも啓発するように呼びかけたい。保護者の学校への理解は進んでいるようだが、学校外の教育活動、児童クラブや放課後子ども教室等へも関心を向けてほしい。せっかく特色ある取り組みをしているのだから、メディアで紹介してもらおうと、地域住民や保護者も喜んでくれるのではないかと。
---------	--